



「浄土」の空間を考える 平泉文化史講座が開講

世界遺産登録に向け、平泉の文化遺産を象徴するキーワード「浄土」について考える「平泉文化史講座 浄土の諸相」が6月16日、平泉郷土館で開講しました。

初回はNPO法人文化財保存支援機構理事の荒木伸介さんが「浄土の景観」と題して講演。浄土は「美意識によって理想像を造形したもの」とし、立体的に浄土を表現したのが「毛越寺の浄土庭園」と述べました。

同講座は今後12月まで6回開催されます。
◎問い合わせ先…平泉郷土館 ☎46-4012



歴史と文化を楽しく学ぶ わくわく平泉学スクール

町内の小・中学生が平泉の歴史と文化を学ぶ「わくわく平泉学スクール」の第1回講座が6月20日、22日の両日、無量光院跡で開かれました。

今回は平泉小の3、6年生が、無量光院跡で発掘作業などを体験。平安時代の平泉に思いをはせながら、歴史と文化を楽しく学んでいました。



若い者には負けません シルバースポーツ大会

「第32回いきいきシルバースポーツ大会」が6月23日、長島小学校校庭で開催されました。

町内の60歳以上の方約300人が参加。ボール送りやゲートボールリレーなど7種目で、元気いっぱいの姿を見せました。大会は長部チームが優勝、小島チームが準優勝を果たしました。

平泉への夢、情熱的に ミュージカル「義経」



町教委が主催する「青少年劇場」が6月24日に一関文化センターで開かれ、町内の小・中学生約800人が、劇団わらび座のミュージカル「義経 平泉の夢」を観劇しました。

悲劇の武将・源義経の半生を「挫折と再生」の視点から情熱的に公演。平泉中の生徒はテーマソング「平泉伝説」を合唱し、劇団に感動を伝えました。



歌や踊りで大にぎわい 八雲神社の例大祭

八雲神社（通称・天王様）の例大祭が6月16日と17日の両日、同神社境内で盛大に開催されました。

五穀豊じょうや家内安全などを祈願する同例大祭。今年は砂子沢地区の人たちが担当となり、多彩で華やかな演目を2日間にわたって奉納しました。

会場には出店も連ね、祭り気分を盛り上げました。詰め掛けた延べ1200人の観客は、出演者の晴れ舞台の数々に盛んな拍手、声援を送っていました。



平泉をもっときれいに！ 女性団体が清掃奉仕活動

平泉商工会女性部や各種女性団体によるアメニティ道路の清掃活動が6月2日に行われ、約80人が草刈りやごみ拾いに汗を流しました。

平泉のイメージアップに役立てようと、毎年行っているもの。この日は早朝6時に開始し、駐在所前から中尊寺にかけての国道4号線沿い歩道を、約1時間の作業できれいに清掃しました。朝田建設従業員の皆さんによる清掃活動も後日行われ、路面は美しさを取り戻しました。



世界遺産目指す平泉をPR 宮崎あおいさんがCM撮影

毛越寺など町内で5月31日、6月1日の2日間、携帯電話事業者のCM撮影が行われました。

CMは、若手人気女優の宮崎あおいさんが東北各地を旅し、地域で頑張っている人を訪ねるシリーズ。今回は「世界遺産を目指す町」として当町が舞台となりました。

JR平泉駅を降りた宮崎さんが毛越寺を訪れ、「変わらないことの良さ」を実感するストーリー。CMは東北6県で8月中旬まで放送されます。